

大事なことだと考えています。

Q 来年 4 月に東金市で東千葉メディカルセンターが部分的に開院する予定だが、救急医療、特に二次救急輪番に関し、協力、役割分担の話し合いはあったのか。

A 市長 東千葉メディカルセンターが現実的に開業をして、どこまで救急医療を受け持てるのか、現在、私どもは見通しを持っていません。実際にどのような形でスタートできるかにかかわってくるかと思っています。

●全小中学校にクローラーの設置を

Q 市内 19 小中学校のすべてにクローラーを設置すべきだと考えるが、教育委員会と市の対応はどうか。

A 教育部長 松尾地区、蓮沼地区の小・中学校と山武北小学校の 7 校は、航空機の騒音対策区域で、すでに空調設備があります。

残りの 12 校、小学校が

成東小、大富小、南郷小、鳴浜小、緑海小、日向小、睦岡小、山武西小、中学校が成東中、成東東中、山武中、山武南中についても、児童生徒の健康上の見地から、費用面、導入スケジュール等の課題はあると思いますが、空調設備を整備する方向で調整していきたいと考えています。

Q 総務部長 必要性については十分認識しています。教育委員会と協議していきます。

【二次救急輪番制とは】

山武郡市内の医療機関（入院施設のある病院）が、毎月、夜間の当番日を決めて二次救急患者の受け入れを行う制度。

また、二次救急患者とは、手術や入院を必要とするが、すぐに生命には別条はない状況の救急患者のこと。

山政研 代表質問



萩原 善和 議員

●専門職員、技術職員について

Q 職員の人事異動で、市長が一番心掛けていることはなにか。

A 市長 適材適所という考え方をとりたいです。若手の職員には、ローテーションを中心に考え、管理職になりますとその経験を生かして、適

材を適所に配置をしたいといったことが、異動に關しての考え方だと考えております。

Q 市の専門職員、技術職員の状況はどうか。

A 総務部長 専門職員、技術職員の状況は別表（※）のとおりです。

Q 専門職員、技術職員の異動は、資格等を生かした異動を考えているのか。

A 総務部長 基本的に担当部署の意見を聞きながら技術を生かせる部署に配属しております。

Q 技術職で、実績、経験を積んだ方を職員として採用する予定はあるのか。

A 総務部長 即戦力になるという部分で、経験者も採用していく予定です。

●教育委員会の連携について

Q 教育委員と教育委員会では、市内小学校 19 校の情報は共有されているのか。

A 教育長 毎月 1 回定例会を開催しており、必要に応じて、臨時会を開催し、状況報告を行い、意識、情報の共有は図られていてと考えております。

Q 学校と教育委員会との情報共有はできているのか。

A 教育長 学校から課で情報内容を整理し、関係各課に情報提供しております。学校で起きた事故・事件等については、「事故報告書」により教育委員会へ提

出されることが定められております。

Q 事故、事件等問題に対処をし、同じ認識の中で対応をする必要があると思うがどうか。

A 教育長 起きないようには、混乱に陥らないように、最初の対応が一番大事であると感じております。

●不登校について

Q 不登校の児童・生徒が年々減っているが、市内の現状はどうか。

A 教育部長 市内の小学校では、平成 23 年度に 48 名、平成 24 年度で 42 人と減少し、中学校では、平成 19 年度に 121 人おりましたが、平成 24 年度には 65 人と大きく減少しております。

また、長欠の理由として、登校意欲や学習意欲の低下が最も多く、続いて、本人の家庭での生活や性格にかかわる問題で、ほぼ 7 割占めております。

(※別表)

技術職員、専門職員の数 (平成25年4月1日現在)

技術職員	土木技術士	5
	電気技術士	2
	介護支援専門員 (ケアマネージャー)	3
	合計	10
専門職員	保育士	47
	幼稚園教諭	23
	保健師	15
	看護師	7
	准看護師	1
	図書館司書	6
	栄養士	5
	社会福祉士	2
	精神保健福祉士	1
	歯科衛生士	1
	合計	108

(単位:人)